

1 部の 使命	<p>議会事務局は、議会と長の適切な緊張関係を背景とした地方自治における二元代表制のもと、市民にとって最良・最適な意思決定が行われるよう、議会の政策立案や監視等における助言スタッフとして機能することにより、持続可能なやぶぐらし幸せ社会を実現します。</p>
	<p>【令和5年度の評価】 本会議の審議、委員会の審査及び所管事務に係る調査について必要となる情報収集や調整を行った。また、次期改選後の議員定数と報酬について調査研究し現状維持とすることを決定した。このように議会の果たすべき役割のうち、議案審査や所管事務調査など監視機能の発揮に時間を要し、政策提言は十分な取組ができなかった。</p>

2 それ までの 経営 評価	<p>○次期改選後の適正な議員定数と報酬を定める//特別委員会を設置し、12月議会で最終報告をした。(達成)</p> <p>○議会機能を強化させる研修会の実施//各議長会が実施する各種研修会で専門的知見の研鑽を図った。(達成)</p> <p>○議会の政策提言を支援する議会図書室の充実//議会運営委員会において必要性を調査し、整備方針をまとめることはできた。本年度設置する。(達成)</p> <p>△業務マネジメントによる働き方改革の推進(夏季休暇の活用によるワークライフバランスの推進)//職員の夏季休暇完全取得は達成できなかった。(未達)</p> <p>事務分掌の変更等により、完全取得できるように対応する。</p> <p>【評価】 4項目のうち3項目で達成としたものの、増額が必要とした政務活動費は、継続協議となる。未達となった働き方改革の推進は、職員のコロナ感染の影響もあった。</p> <p>【原因】 夏季休暇取得期間と6月・9月の定例会及び7～8月の決算監査の実施時期が重なることに加え、令和5年度は職員のコロナ感染もあり、夏季休暇のワークライフバランスへの活用が十分できなかった。</p> <p>【改善・対応】 議会タブレットの活用、コロナ禍を契機とした議会のオンライン化を進め、年間を通じたワークスタイルの変革に取り組む</p>
----------------------------	---

3 外部 環境	<p>◎機会</p> <p>【政治】 議員のなり手不足に向けた法改正(議員の兼業規定の緩和)</p> <p>【社会】 デジタル田園都市構想の取組など社会レベルでICTの推進</p> <p>【社会】 日本経済の復調基調</p> <p>▽脅威</p> <p>【社会】 人口減少問題</p>
---------------	--

4 内部 環境	<p>○強み</p> <p>【人材】 改選による議員構成の刷新</p> <p>【協働】 議会モニター制度や地域・各種団体との意見交換会を活用した課題の共有</p> <p>【環境】 市議会のデジタル化</p> <p>▽弱み</p> <p>【市民】 議会モニターの固定化</p> <p>【情報】 ICTへの対応に関する議員の個人差</p>
---------------	--

5 重要 経営 課題	<p>【政策】 政策立案できる議会を目指す</p> <p>【情報】 開かれた議会を実践する情報発信の強化</p> <p>【情報】 議会の政策立案を支援する議会図書室の活用</p> <p>【市民】 市民起点の議会改革を推進する</p> <p>【人材】 職員間で事務の共有化を図る</p> <p>【経営】 市民起点による議会経営の実践</p>
6 部の 経営 体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所管課：議会事務局兼監査委員事務局 ・ 人員：5人 ・ 予算：議会費と監査委員費の合計 118,402千円
7 部の 経営 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改選後の議会が円滑に始動し適切に機能することで切れ目なく議会の責務を果たせるよう支援する ・ 議会機能を強化させる研修会の実施 ・ 議会の政策提言を促す議会図書室の充実 ・ 播但市議会議長会の主管と地域自治の推進 ・ ワークスタイルの変革による働き方改革の推進（デジタルの活用によるワークライフバランスの推進）
8 部の 経営 方針	<p>【市民】 議会に向けた市民の信頼度向上</p> <p>【経営】 議員から信頼される事務局の調整力の向上</p> <p>【政策】 議会における政策立案能力の確立・強化</p> <p>【協働】 議会モニター制度を活用した議会改革の推進</p> <p>【人材】 OJTによる職員研修の実施</p> <p>【改善】 業務改善ミーティングの開催</p>
9 部の 重要 政策 の取 組内 容	<p>【新規】 ①議会の見える化の推進</p> <p>【拡大】 ①議会政策形成セミナーの実施</p> <p>②議会図書室の機能強化</p> <p>③VUCAの時代を踏まえ多様な市民ニーズの把握（議会報告会、意見交換会、市民アンケート等）</p> <p>④改選期の適切な議会運営</p> <p>【改良】 ①議会モニター制度を活用し、市民感覚に則した議会改革の推進</p> <p>②市民から親しまれる議会だよりの改善 ターゲットを明確にし、市民起点の「読まれる」紙面づくり</p> <p>③政務活動費の見直しによる議員の質的向上を図る 政務活動費の額を見直し、議員の調査研究等の活性化による質的改善</p>

10 部の 職場 方針	<p>【部の目標】</p> <ul style="list-style-type: none">◆成果の場：職員の理解の浸透度：B（51～70%）を目指す。◆改善の場：職員の人事評価目標管理シートの改善度：B（51～70%）を目指す。
----------------------	---